

彦根城（彦根市）から 奥びわスポーツの森（長浜市）へ！ 湖岸に沿って湖北の 自然や街の歴史、 生活文化にふれる♪

よしみち びわイチ

Vol.3

CYCLING

第3回は、彦根市の彦根城から長浜市の奥びわスポーツの森に至る約29km。平均時速15kmで寄り道せずに走ればおよそ2時間のコースです。

彦根城をスタートして湖岸道路へ。琵琶湖を左手に眺めながら北上します。鳥人間コンテストの発射台が設置される松原水泳場や朝妻湊跡、そして世継湧水群「世継のかなぼう」を越えたら長浜びわこ大仏の背中が見えてきます。観光ポイントの黒壁スクエアまではあと少し。自転車を降りて街並みを散策したら、そのまま鉄道スクエアや長浜城にも足を運んでみましょう（季節が合えば今川町のコスモス園と伊吹山の眺望もぜひ！）。そしてゴール地点の奥びわスポーツの森へ。

高い空の下、琵琶湖岸の景観や湖北の文化、歴史をお楽しみください。



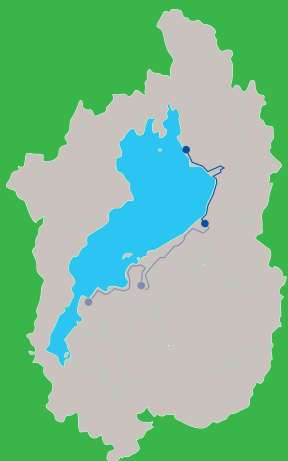
今川町のコスモス園



こぐ力を8割以下に抑えて、できるだけ一定の回転数でペダルを回し、ペーシングを保ちます。適切なギア選びが疲労を減らすコツ。「軽いか？」と感じる程度でくるくる回した方が疲れません。坂を上るときも軽いギアを選んで、焦らず走りましょう。

サドルが低いと太ももへの負担が増えたりおしりが痛くなったりします。ペダルにかかとをつけて足がまっすぐ伸びた状態を目安に調整をしてみましよう。サドルが適正な高さになると体重が両手両足とおしりに分散され、楽に走れます。停車時はサドルの前にお尻を下ろしましょう。

ビワイチ、つまり長距離を走るコツ



コース	距離	約29km
	所要時間	約2時間
	消費カロリー	880kcal
START		
	彦根城(玄宮園)	
	松原水泳場	
	朝妻湊跡	
	世継のかなぼう	
	長浜びわこ大仏	
	今川町のコスモス園	
	黒壁スクエア	
	長浜鉄道スクエア	
	長浜城本丸跡	
GOAL		
	奥びわスポーツの森	

彦根八景に数えられる 松原水泳場

1 kmにわたる白砂の浜。松林が美しく「さざ波立つ千々の松原」の名で「彦根八景」の一つにも数えられています。浅瀬の水泳場として夏場は家族連れでに大にぎわい。鳥人間コンテスト選手権大会の会場としても有名です。



松原水泳場

いにしへの湖上交通の要港 朝妻湊跡

東海・北陸地方との往来など湖上交通の要港として発展してきた。豊臣秀吉が京の大仏殿建立の際、尾張や美濃から木材を運搬するなど、歴史の舞台にも登場。石碑や港内に敷き詰められた石畳に当時を偲んでみては。



朝妻湊跡を示す石碑

世継のかなぼう(世継湧水群)

「かなぼう」は「金棒」。打ち込まれた金属の管で、この界限に湧き出る泉や洗いの場の総称です。地下100mから湧

き出す水は、夏は冷たく、冬は暖かく感じます。野菜の水洗などに利用され、地域の社交場ともなっています。



水が湧き出すかなぼう

「長浜びわこ大仏」は高さ28m

緑青銅製の阿彌陀如来像。初代は護国阿彌陀如来と呼ばれ、昭和12年(1937)に建立されました。昭和50年代になってコンクリートの劣化が進んだため1992年に解体。1994年に建立されたのが「長浜びわこ大仏」と呼ばれる現在の塔です。



道路からは背中が見える

今川町のコスモス園と伊吹山

長浜市の名勝、今川町のコスモス園から望む伊吹山。農地の保全や景観向上に取り組む今川やすらぎの里を守る会が2007年から栽培。11



伊吹山とコスモス園

月上旬まで楽しめます。入場も花の持ち帰りも自由。

明治〜昭和初期のロマン漂う 街並み、黒壁スクエア

長浜駅から東へ自転車だと2、3分。北国街道沿いに続く古い街並です。

黒壁銀行の愛称で親しまれた古い銀行を改装した「黒壁ガラス館」を中心に、ガラスショップや工房、ギャラリー、体験教室、レストランやカフェなどのお店が並んでいます。



黒壁ガラス館

鉄道の聖地 長浜鉄道スクエア

現存する日本最古の駅、旧長浜駅舎は明治15年(1882)の建造。長浜鉄道文化館には貴重な鉄道資料が展示され、北陸線電化記念館ではデゴイチやED70形電気機関車の実物を見ることが出来ます。通りの向かいには明治天皇皇后陛下が滞在された迎賓館「慶雲館」も。



北陸線電化記念館

地名の起源となった長浜城

小谷城の浅井長政を滅ぼした秀吉は、本拠を小谷から琵琶湖沿岸の今浜に移し、織田信長から「長」の字を賜り長浜と改名しました。現在は豊公園として整備されており、昭和58年(1983)に建てられた模擬天守(長浜城歴史博物館)がシンボルになっています。



長浜城の模擬天守

奥びわスポーツの森

自然に囲まれた広い敷地内には野球やサッカーができる多目的広場やテニスコート、グラウンド、ゴルフ場などがあります。広場にある内湖の周りには遊歩道があり、鳥のさえずりや虫の声を聴きながら、四季の移ろいを楽しむことができます。



広場のなかにある内湖と遊歩道(奥びわスポーツの森)

次号では、奥びわスポーツの森(長浜市)から奥琵琶湖パークウェイ(長浜市)を目指します!